

人口増加傾向が続く福岡都市圏

～ 平成17年国勢調査結果(その4) 第1次基本集計結果(2) ～

第18回国勢調査(平成17年10月1日実施)の第1次基本集計結果について、先号の福岡市の概況に続き、福岡都市圏及び大都市の概況について紹介します。

福岡都市圏の状況

1.人口と年齢構成

県人口の46.0%が福岡都市圏に

福岡都市圏の平成17年10月1日現在の人口は232万3070人、世帯数は97万

9364世帯で、前回調査(平成12年)と比べ人口は88,644人増加(増加率4.0%)し、世帯数は71,310世帯増加(同7.9%)しました。福岡県全体に占める福岡都市圏の人口割合は46.0%で、平成12年に比べ1.5ポイント上昇しており、福岡都市圏の人口は依然、増加傾向にあります。

人口増加率を見ると、平成7～12年では福岡市以外の都市圏4地域が福岡市を上回っていましたが、今回は、福岡市が4.5%、福岡市以外の都市圏4地域が

表1 福岡都市圏の世帯数、人口、年齢3区分別割合及び老年化指数等

地域市町村	世帯数	人口		平成12年～17年の人口増減		平成7～12年の人口増加率	面積(km ²)	人口密度(1km ² 当たり)	年齢3区分別割合(%)			老年化指数	
		平成17年	平成12年	実数	率(%)				15歳未満	15～64歳	65歳以上	平成17年	平成12年
福岡都市圏	979 364	2 323 070	2 234 426	88 644	4.0	5.5	1 169.16	1 987.0	14.3	69.2	15.7	110.4	89.6
福岡市	649 138	1 401 279	1 341 470	59 809	4.5	4.4	340.60	4 114.1	13.4	70.2	15.2	113.5	93.0
福岡市以外の都市圏	330 226	921 791	892 956	28 835	3.2	7.1	758.10	1 215.9	15.5	67.6	16.5	106.3	85.3
筑紫地域	153 621	412 780	399 329	13 451	3.4	7.6	233.36	1 768.9	16.2	68.3	14.9	92.3	73.7
筑紫野市	35 372	97 571	93 049	4 522	4.9	13.9	87.73	1 112.2	15.3	68.8	15.8	103.5	83.5
春日市	41 293	108 402	105 219	3 183	3.0	6.1	14.15	7 660.9	17.3	67.6	12.9	74.9	57.7
大野城市	35 272	92 748	89 414	3 334	3.7	7.9	26.88	3 450.4	16.6	68.6	14.6	87.7	69.8
太宰府市	25 448	67 087	66 099	988	1.5	1.8	29.61	2 265.7	13.5	68.1	18.4	136.7	113.9
那珂川町	16 236	46 972	45 548	1 424	3.1	7.6	74.99	626.4	18.4	68.2	13.3	72.2	58.1
粕屋地域	90 833	261 212	250 753	10 459	4.2	7.7	136.26	1 917.0	15.8	68.2	16.0	101.3	82.9
古賀市	19 768	55 943	55 476	467	0.8	8.3	42.11	1 328.5	15.2	68.4	16.4	108.3	78.3
宇美町	12 340	39 136	38 126	1 010	2.6	3.8	30.22	1 295.0	14.4	70.2	15.3	106.2	81.7
篠栗町	10 589	30 985	29 389	1 596	5.4	11.7	38.90	796.5	17.1	65.8	17.1	99.7	89.4
志免町	14 885	40 557	37 794	2 763	7.3	4.4	8.70	4 661.7	16.0	67.5	16.4	102.3	89.2
須恵町	8 534	25 601	25 086	515	2.1	4.0	16.33	1 567.7	14.6	67.4	18.0	123.6	101.3
新宮町	8 155	23 447	22 431	1 016	4.5	16.7	18.91	1 239.9	17.1	69.1	13.8	80.4	67.1
久山町	2 448	7 858	7 640	218	2.9	1.7	37.43	209.9	14.6	63.6	21.9	150.1	128.2
粕屋町	14 114	37 685	34 811	2 874	8.3	10.5	14.12	2 668.9	16.9	69.7	13.4	79.1	70.6
宗像地域	54 406	149 825	147 834	1 991	1.3	4.8	172.36	869.3	13.5	66.1	20.4	150.7	116.7
宗像市	34 914	94 148	92 056	2 092	2.3	5.9	119.65	786.9	13.8	66.7	19.4	140.4	108.5
福津市	19 492	55 677	55 778	101	0.2	3.0	52.71	1 056.3	13.0	65.0	22.0	169.2	131.8
糸島地域	31 366	97 974	95 040	2 934	3.1	7.2	216.12	453.3	15.3	65.6	18.8	123.0	96.5
前原市	22 208	67 275	63 883	3 392	5.3	10.2	104.50	643.8	16.4	66.6	16.6	101.4	81.9
二丈町	4 177	13 409	13 586	177	1.3	3.3	57.07	235.0	12.4	63.6	24.1	194.6	134.1
志摩町	4 981	17 290	17 571	281	1.6	0.2	54.55	317.0	13.3	63.4	23.3	175.1	126.0
(別掲)													
福岡県	2 009 911	5 049 908	5 015 699	34 209	0.7	1.7	4 976.12	1 014.8	13.9	65.9	19.8	142.3	117.2
福岡都市広域圏	979 364	2 323 070	2 234 426	88 644	4.0	5.5	1 169.16	1 987.0	14.3	69.2	15.7	110.4	89.6
北九州都市広域圏	466 624	1 137 622	1 156 679	19 057	1.6	0.7	596.74	1 906.4	13.3	64.3	22.4	168.7	138.7
京築広域圏	70 376	191 521	195 573	4 052	2.1	0.2	566.20	338.3	14.0	62.5	23.5	168.6	137.1
甘木・朝倉広域圏	28 308	91 487	93 581	2 094	2.2	0.9	365.84	250.1	14.1	61.4	24.4	173.4	142.9
八女・筑後広域圏	44 292	141 354	143 816	2 462	1.7	0.3	562.29	251.4	14.6	60.9	24.4	166.7	138.3
久留米広域圏	162 917	465 712	463 939	1 773	0.4	0.8	467.76	995.6	14.9	64.3	20.3	136.5	112.8
有明広域圏	86 697	249 001	261 949	12 948	4.9	4.0	263.57	944.7	12.7	60.3	26.8	210.7	166.7
飯塚広域圏	74 774	193 821	199 839	6 018	3.0	3.0	369.38	524.7	12.9	63.0	24.0	186.2	153.3
直方・鞍手広域圏	42 599	115 584	119 403	3 819	3.2	4.2	251.53	459.5	12.4	61.4	26.0	210.1	168.5
田川広域圏	53 960	140 736	146 494	5 758	3.9	4.5	363.65	387.0	13.1	59.7	26.7	203.7	168.2

注1)「宗像市」及び「福津市」の平成12年の値は、それぞれ合併前の旧市町の合計数です。
 2)各広域圏に含まれる自治体については本誌統計表「7.福岡都市圏人口(福岡県人口別掲)」の脚注をご覧ください。
 3)「福岡都市広域圏」は県が使用している表現で、本文で使用している「福岡都市圏」と同じ範囲です。
 4)「老年化指数」は老年人口(65歳以上人口)を年少人口(15歳未満人口)で除して求める指数で、人口高齢化の程度を示す指数として用いられるものです。

3.2%と、福岡市の伸びが大きくなっています。都市圏4地域の中では、粕屋地域の伸びが4.2%と最も大きくなっています。

各自治体別に人口を見ると、福岡市以外では、春日市が108,402人と最も多く、以下、筑紫野市97,571人、宗像市94,148人、大野城市92,748人と続き、筑紫地域の自治体で福岡市以外の都市圏人口の半分近くを占めています。

人口増加率については粕屋町の8.3%が最も高く、以下、志免町7.3%、篠栗町5.4%と粕屋地域の自治体の伸びが目立ちます。一方、福津市、二丈町、志摩町の3自治体で人口が減少しています。

福岡都市圏全体の年齢構成を見ると、15歳未満の年少人口が14.3%（前回比0.9ポイント増）、15～64歳未満の生産年齢人口が69.2%（同1.7ポイント減）、65歳以上の老年人口が15.7%（同2.1ポイント増）で、老年化指数は110.4となり、老年人口が年少人口を上回りました。各自治体別に見ても、老年化指数が100未

満の自治体は6自治体で、前回の12自治体から大きく減少し、福岡都市圏でも高齢化が進んでいることが分かります。老年化指数が最も低いのは那珂川町の72.2です。

県内を広域圏別に見ると、人口が増加したのは福岡都市圏と久留米広域圏のみで、他の広域圏では減少しています。

また、すべての広域圏で老年化指数が100を超えていますが、広域圏の中では福岡都市圏の老年人口割合及び老年化指数が最も低くなっています。

2. 世帯状況

世帯人員が多い糸島地域

一般世帯1世帯あたり人員を自治体別に見ると、最も多いのが志摩町で3.34人、以下、二丈町3.17人、久山町3.14人、前原市3.00人と続き、糸島地域の各自治体で世帯人員が多い傾向があります。一方、世帯人員が最も少ないのは福岡市で2.15人、以下、太宰府市2.57人、

表2 福岡都市圏各自治体の世帯の状況

地域、自治体	一般世帯数		一般世帯 1世帯あたり人員		核家族世帯		単 独 世 帯		(別掲) 一般世帯に占める割合 (平成17年)				
	平成17年	平成12年	平成17年	平成12年	平成17年	核家族世帯比率		平成17年	単独世帯比率		高齢親 族のい る世帯	高齢 夫婦 世帯	高齢 单身 世帯
						平成17年	平成12年		平成17年	平成12年			
福岡市	632 653	594 861	2.15	2.21	311 750	49.3	49.9	277 548	43.9	43.1	23.2	6.1	7.2
筑紫地域													
筑紫野市	35 284	32 419	2.68	2.79	23 118	65.5	64.6	8 577	24.3	23.7	29.1	8.2	6.0
春日市	39 321	38 740	2.66	2.67	26 939	68.5	66.8	9 471	24.1	25.9	24.6	7.6	5.4
大野城市	35 138	33 233	2.58	2.63	22 985	65.4	65.1	9 413	26.8	26.8	24.8	7.5	5.6
太宰府市	25 388	24 007	2.57	2.66	16 284	64.1	64.2	6 593	26.0	25.3	31.3	9.9	6.1
那珂川町	16 187	15 097	2.88	2.99	11 526	71.2	71.4	2 938	18.2	16.7	26.1	6.9	4.5
粕屋地域													
古賀市	19 745	18 472	2.76	2.93	13 243	67.1	68.9	4 349	22.0	19.4	30.1	7.8	6.2
宇美町	12 281	11 454	2.97	3.13	8 463	68.9	69.3	2 059	16.8	15.2	32.4	7.7	6.3
篠栗町	10 575	9 740	2.83	2.93	7 113	67.3	67.4	2 065	19.5	18.6	30.4	7.1	5.8
志免町	14 802	13 073	2.70	2.84	9 642	65.1	66.9	3 401	23.0	20.0	29.7	7.3	5.8
須恵町	8 511	7 874	2.92	3.09	5 579	65.6	66.7	1 531	18.0	15.7	34.0	7.4	6.0
新宮町	8 140	7 705	2.81	2.87	5 495	67.5	65.7	1 712	21.0	22.1	27.3	7.1	5.2
久山町	2 444	2 312	3.14	3.24	1 452	59.4	59.1	408	16.7	15.8	47.2	10.4	6.9
粕屋町	14 098	12 620	2.65	2.74	8 711	61.8	62.4	3 601	25.5	25.5	24.6	5.8	4.7
宗像地域													
宗像市	34 857	32 278	2.65	2.80	22 703	65.1	66.6	8 351	24.0	21.5	34.8	11.2	7.1
福津市	19 434	18 589	2.78	2.91	13 650	70.2	70.1	3 447	17.7	16.3	39.6	12.3	7.7
糸島地域													
前原市	22 001	19 708	3.00	3.19	14 910	67.8	68.0	3 531	16.0	13.8	33.9	7.7	5.2
二丈町	4 173	3 937	3.17	3.41	2 538	60.8	59.2	567	13.6	12.9	50.8	11.5	7.2
志摩町	4 971	4 665	3.34	3.62	2 970	59.7	57.7	609	12.3	10.1	49.9	9.2	6.1
(参考) 福 岡 県	1 984 662 1 906 862	2.47	2.57	1 135 958	57.2	57.9	630 031	31.7	30.2	33.6	8.8	8.7	

注) 国勢調査における一般世帯とは、次のように定義されています。

- (1) 住居と生計を共にしている人の集まり又は一戸を構えて住んでいる単身者
- (2) 上記の世帯と住居を共にし、別に生計を維持している間借り人の単身者又は下宿屋などに下宿している単身者
- (3) 会社・団体・商店・官公庁などの寄宿舎、独身寮などに居住している単身者(学校の寮・寄宿舎の学生・生徒は除きます)

大野城市2.58人と続きます。福岡市は福岡県平均の2.47人と比べても、世帯人員が少なくなっています。

前回と比較すると、すべての自治体で1世帯あたりの人員が減少しており、全体的に世帯の小規模化が進んでいることが分かります。

単独世帯比率は福岡市が突出

世帯の家族類型について見ると、一般世帯に占める核家族世帯の割合は、那珂川町が最も高く71.2%、以下、福津市70.2%、宇美町68.9%と続きます。単独世帯の割合は、福岡市が最も高く43.9%、以下、大野城市26.8%、太宰府市26.0%と続きます。福岡市は、単独世帯数が大きな値となっていることから、この影響で核家族世帯の割合(49.3%)が押し下げられているといえます。

核家族世帯と単独世帯の合計が一般世帯に占める割合を見ると、福岡市が93.1%と最も高く、また、筑紫地域の各自治体が高い割合を示しています。一方、

世帯人員の多い糸島地域は他地域と比べ、単独世帯の比率が小さくなっています。

高齢夫婦世帯の割合が高い宗像地域

一般世帯に占める高齢親族(65歳以上の親族)のいる世帯を見ると、二丈町が50.8%、次いで志摩町が49.9%と高い割合を示しており、核家族世帯比率が低い糸島地域では、高齢親族のいる世帯の割合が高く、また、宗像地域も比較的高い値を示しています。粕屋地域は、自治体によって状況が異なり、同地域内で割合が最も低いのは粕屋町24.6%、高いのは久山町47.2%となっています。筑紫地域は他地域と比べると高齢親族のいる世帯割合は低い傾向にあります。

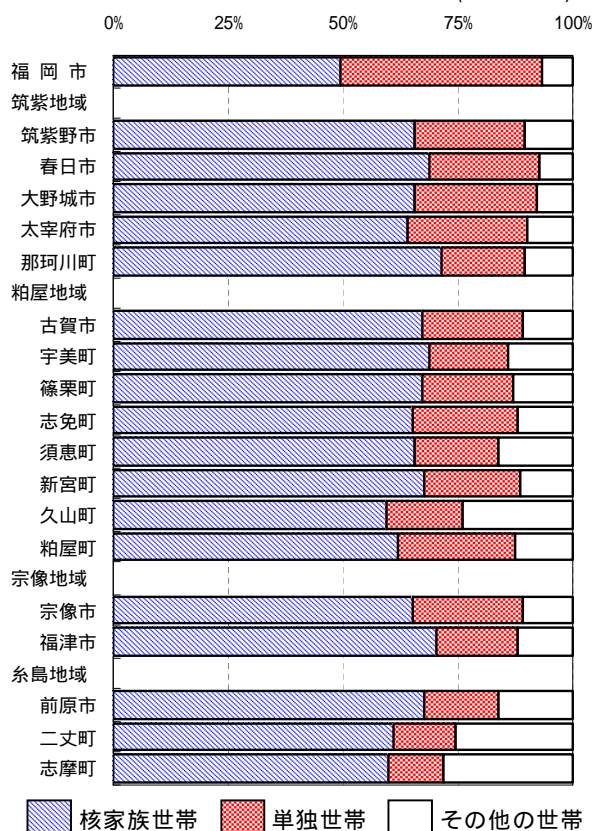
一般世帯に占める高齢夫婦(夫が65歳以上、妻が60歳以上)世帯の割合を見ると、福津市が最も高く12.3%、次いで二丈町11.5%、宗像市11.2%となっており、宗像地域が他地域に比べ高い割合を示しています。

福岡市は、福岡都市圏の自治体の中では、高齢親族のいる世帯割合(23.2%)、高齢夫婦世帯割合(6.1%)ともに最も低い値となっています。

一般世帯に占める高齢単身世帯の割合について見ると、福津市が7.7%と最も高く、次いで二丈町7.2%、福岡市7.2%、宗像市7.1%と続きます。地域別に見ると宗像地域で高齢単身世帯の割合が高くなっています。

福岡都市圏の中で、高齢夫婦世帯よりも高齢単身世帯が多い自治体は福岡市のみとなっています。

図1 福岡都市圏各自治体の世帯の割合(平成17年)



3. 住居の概況

世帯構成と関係がある持ち家率

一般世帯の持ち家の割合(持ち家率)を見ると、志摩町が94.1%と最も高く、以下、二丈町90.6%、久山町80.2%と続きます。この3町は高齢親族のいる世帯の割合も高い値を示しており、三世代以上にわたって持ち家に定住している世帯が多いと考えられます。高齢親族のい

る世帯の割合が比較的高い宗像地域も持ち家率が高くなっています。

一方、持ち家率が最も低いのは福岡市で、38.4%と他の自治体に比べ格段に小さくなっています。以下、粕屋町45.7%、大野城市50.4%と続きます。

地域別に見ると、持ち家率が高いのは糸島地域と宗像地域で、筑紫地域と粕屋地域は福岡市に隣接している自治体で持ち家率が低い傾向にあります。

前回に比べ、5自治体で持ち家率が上昇しており、上昇幅が最も大きいのは春日市で2.7ポイントの上昇、以下、大野城市1.5ポイント上昇、福岡市、新宮町（ともに1.1ポイント上昇）と続きます。

世帯の延べ面積が最狭の福岡市

住宅の規模について見ると、1世帯あ

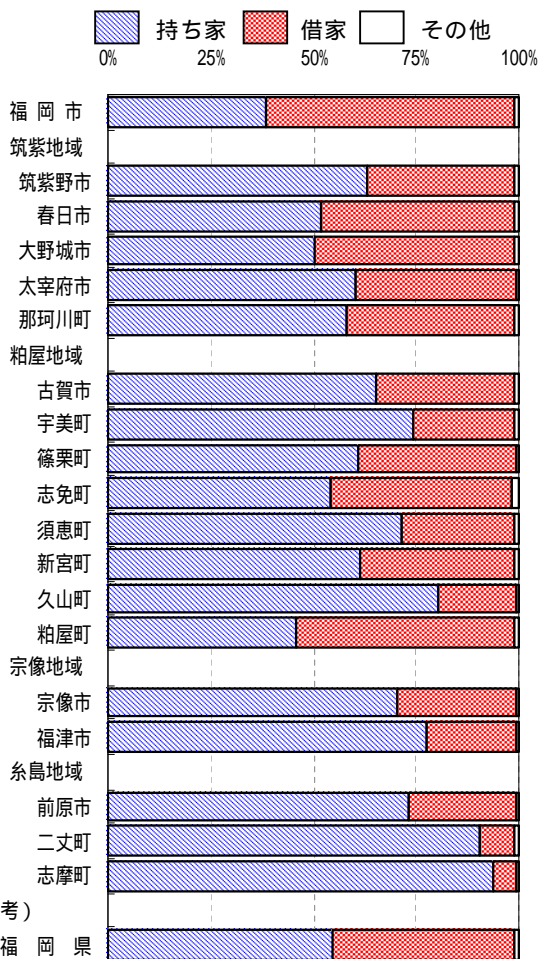
たりの住宅の延べ面積は、志摩町が131.2㎡で最も広く、以下、持ち家率と同様に二丈町126.7㎡、久山町125.9㎡と続きます。福岡都市圏19自治体のうち15自治体が、1世帯あたり延べ面積の福岡県平均86.0㎡を上回っています。福岡市は67.6㎡と、福岡都市圏内では他の自治体と比べ、1世帯あたり延べ面積はかなり狭くなっています。

1人あたりの延べ面積を見ると、二丈町が40.0㎡で最も広く、久山町39.5㎡、志摩町39.2㎡と続き、こちらも持ち家率の高い3町が上位になりました。福岡市は一般世帯1世帯あたりの人員（2.15人）が他の自治体に比べ少ないため、1人あたりの延べ面積では31.2㎡と、他の自治体と大きな差は出ていません。

表3 福岡都市圏の住居の状況

地 域 自 治 体	持 ち 家 率		借 家 率		1世帯 当 たり 延 べ 面 積 (㎡)	1 人 当 たり 延 べ 面 積 (㎡)
	平成 17年	平成 12年	平成 17年	平成 12年		
福岡市	38.4	37.3	60.5	61.5	67.6	31.2
筑紫地域						
筑紫野市	63.3	64.1	35.8	35.2	95.0	35.1
春日市	51.9	49.2	47.1	49.4	81.4	30.3
大野城市	50.4	48.9	48.6	49.9	83.1	31.8
太宰府市	60.2	60.6	39.0	38.5	91.8	35.6
那珂川町	58.1	58.0	40.9	40.9	92.6	31.8
粕屋地域						
古賀市	65.6	66.8	33.5	32.2	96.9	34.7
宇美町	74.5	75.6	24.2	23.1	101.6	34.0
篠栗町	60.8	63.5	38.4	35.1	92.2	32.4
志免町	54.2	56.4	44.2	42.0	89.9	33.0
須恵町	71.3	76.4	27.8	22.6	101.3	34.5
新宮町	61.4	60.3	37.6	38.9	97.3	34.1
久山町	80.2	81.8	19.5	17.3	125.9	39.5
粕屋町	45.7	47.5	53.4	51.0	82.4	30.8
宗像地区						
宗像市	70.4	72.0	29.0	27.1	102.5	38.5
福津市	77.6	78.5	21.7	21.0	106.2	38.2
糸島地区						
前原市	73.1	75.9	26.2	23.4	106.2	35.3
二丈町	90.6	91.6	8.4	7.5	126.7	40.0
志摩町	94.1	95.1	5.5	4.3	131.2	39.2
(参考)						
福 岡 県	54.5	54.4	44.6	44.5	86.0	34.5

図2 福岡都市圏各自治体の住居の状況 (平成17年)



大都市の状況

平均年齢が最も若い福岡市

平成17年の大都市(政令指定都市及び東京都区部)全体の人口は3,132万8,010人で、全国の人口1億2,776万7,994人の24.5%を占めています。

各都市別に見ると、東京都区部が848万9,653人と最も多く、以下、横浜市357万9,628人、大阪市262万8,811人と続き、福岡市は京都市に次いで8番目となっています。前回と比較して人口が減少したのは静岡市、北九州市の2都市でした。

男性人口が女性人口を上回っている都市は、首都圏にあるさいたま市、千葉市、川崎市、横浜市の4都市です。

1世帯あたりの人員は東京都区部が2.05人で最も少なく、以下、大阪市2.11人、福岡市2.16人と続きます。

人口密度は東京都区部が13,663.2人/km²と最も高く、福岡市は4,114.1人/km²で、人口と同様に8番目に位置しています。

総人口に占める外国人の割合は大阪市の3.8%と最も高く、福岡市は1.2%で大都市では低いほうに分類されます。

表4 大都市の世帯数及び人口の状況

都 市	世 帯 数	人 口			12-17年 人口増加率	性 比	1世帯当 たりの人員	人口密度 (人/km ²)	外国人の 割合(%)
		男	女						
札幌市	837 367	1 880 863	889 054	991 809	3.2	89.6	2.25	1 677.7	0.3
仙台市	439 579	1 025 098	500 597	524 501	1.7	95.4	2.33	1 308.3	0.6
さいたま市	460 457	1 176 314	590 972	585 342	3.8	101.0	2.55	5 408.6	1.0
千葉市	373 766	924 319	462 961	461 358	4.2	100.3	2.47	3 397.2	1.5
東京都区部	4 146 481	8 489 653	4 210 749	4 278 904	4.4	98.4	2.05	13 663.2	2.3
川崎市	595 513	1 327 011	687 080	639 931	6.2	107.4	2.23	9 299.3	1.4
横浜市	1 478 104	3 579 628	1 803 579	1 776 049	4.5	101.6	2.42	8 184.3	1.4
静岡市	264 073	700 886	340 999	359 887	0.8	94.8	2.65	510.1	0.8
名古屋市	955 851	2 215 062	1 099 582	1 115 480	2.0	98.6	2.32	6 785.3	2.1
京都市	653 860	1 474 811	703 210	771 601	0.0	91.1	2.26	1 781.4	2.4
大阪市	1 245 012	2 628 811	1 280 325	1 348 486	1.2	94.9	2.11	11 835.6	3.8
大塚市	322 936	830 966	400 294	430 672	0.2	92.9	2.57	5 540.1	1.3
神戸市	643 351	1 525 393	724 427	800 966	2.1	90.4	2.37	2 763.3	2.4
広島市	487 416	1 154 391	559 345	595 046	1.8	94.0	2.37	1 275.6	1.0
北九州市	413 510	993 525	466 779	526 746	1.8	88.6	2.40	2 037.3	1.0
福岡市	649 138	1 401 279	673 097	728 182	4.5	92.4	2.16	4 114.1	1.2
全 国	49 566 305	127 767 994	62 348 977	65 419 017	0.7	95.3	2.58	342.7	1.2

表5 大都市の年齢構成と世帯状況

都 市	年 齢 別 割 合 (%)			平均年齢	老年化 指数	一般世帯 1世帯 当たりの 人員	一般世帯に占める割合 (%)				
	15歳未満	15-64歳	65歳以上				核家族 世帯	単独世帯	高齢親族 のいる世帯	高齢 夫婦世帯	高齢 単身世帯
札幌市	12.4	70.1	17.3	42.3	139.0	2.21	56.3	37.1	26.0	8.4	7.4
仙台市	13.7	70.1	15.8	40.5	115.5	2.31	52.2	38.5	25.1	6.8	5.6
さいたま市	14.5	69.3	15.9	41.2	109.7	2.54	64.1	27.7	28.0	7.9	5.8
千葉市	13.8	69.2	16.5	41.7	119.3	2.45	63.8	29.0	28.2	8.8	6.4
東京都区部	10.6	69.3	18.5	43.2	174.1	2.05	48.2	45.4	27.9	7.1	9.2
川崎市	13.1	72.2	14.6	40.3	111.4	2.21	53.9	39.6	22.5	6.4	5.5
横浜市	13.5	68.7	16.9	41.9	125.3	2.42	62.7	30.2	28.5	8.6	6.8
静岡市	13.4	65.6	21.0	44.1	156.9	2.62	57.2	27.4	37.7	8.8	7.0
名古屋市	13.2	67.4	18.4	42.4	139.2	2.31	54.9	36.6	30.2	8.6	8.5
京都市	12.0	67.2	19.9	43.0	165.2	2.24	51.9	39.9	31.5	8.4	9.5
大阪市	12.0	66.6	20.1	43.6	168.1	2.12	50.7	42.7	31.8	8.0	12.0
大塚市	14.1	66.6	18.6	42.8	132.0	2.54	66.4	25.5	33.5	9.9	9.2
神戸市	13.1	66.6	20.0	43.4	153.0	2.34	60.3	33.2	33.3	9.9	11.0
広島市	14.7	67.6	16.9	41.6	115.1	2.35	59.5	33.7	27.7	8.6	8.0
北九州市	13.3	64.4	22.2	44.5	167.5	2.35	59.6	32.1	36.3	10.7	11.0
福岡市	13.4	70.2	15.2	40.3	113.5	2.15	49.3	43.9	23.2	6.1	7.2
全 国	13.7	65.8	20.1	43.3	146.5	2.55	57.9	29.5	35.1	9.1	7.9

注1) 今回の特集では、現在政令指定都市である15都市と東京都区部を対象としています。
(平成17年国勢調査実施時点で堺市は政令指定都市ではありませんでしたが、本特集では対象としています。)
注2) 対象としている市域は平成17年国勢調査時点の市域であり、本特集でいう静岡市の市域はその後の市町村合併により、現市域とは異なっています。

平均年齢を見ると福岡市は40.3歳で、川崎市と並び大都市の中で最も若くなっています。

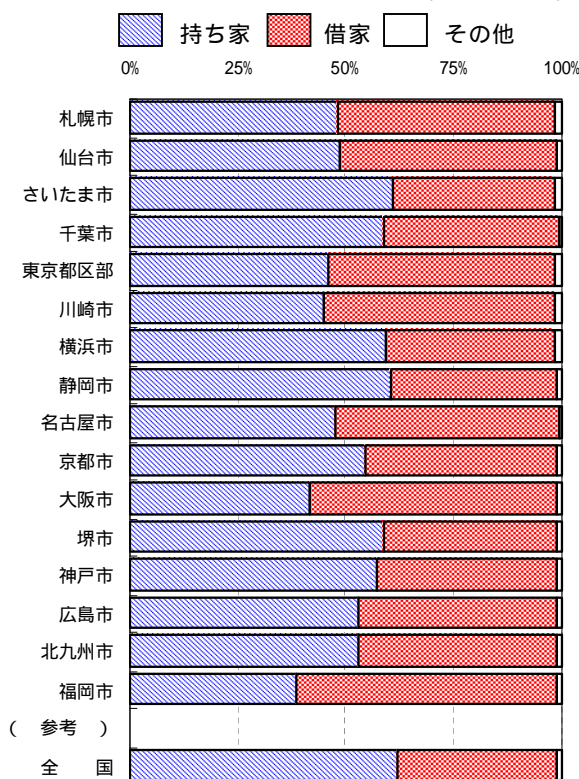
福岡市は東京に似る世帯構成

世帯の状況を見ると福岡市は核家族世帯の割合が49.3%と低い一方で、単独

世帯の割合は43.9%と、東京都区部45.4%に続く高さとなっています。核家族世帯数と単独世帯数の比は東京都区部や大阪市に近い傾向にあります。

高齢親族のいる世帯について見ると、福岡市23.2%は川崎市22.5%に次ぐ低い割合となっており、高齢夫婦世帯割合は大都市中最も低くなっています。

図3 大都市の住居の状況(平成17年)



福岡市の持ち家率は大都市で最低

住宅の所有の関係を見ると、福岡市の持ち家率38.4%は大都市の中で最も低い値となっています。持ち家率が最も高いのはさいたま市の61.0%です。

一方、借家総数の割合は、福岡市は大都市の中で最も高く、60.5%となっています。借家総数が持ち家数を上回っている7都市の中で、福岡市は持ち家率と借家率の差が最も大きくなっています。

最後に住宅の規模を見ると、1世帯あたり延べ面積について、福岡市は大阪市、東京都区部、川崎市に次いで4番目に狭くなっています。

平成17年国勢調査結果は、総務省統計局のホームページで公表しています。

<http://www.stat.go.jp>

表6 住宅の建て方別一般世帯数

	住宅に住む一般世帯に占める割合(%)						間借り	1世帯 当たり 延べ面積 (㎡)	1人当たり 延べ面積 (㎡)
	持ち家	借家総数	公営の借家	都市機構・ 公社の借家	民営の借家	給与住宅			
札幌市	48.1	50.1	3.7	1.1	42.4	2.9	1.8	76.4	34.5
仙台市	48.9	50.2	3.0	1.1	41.6	4.5	0.9	78.8	33.9
さいたま市	61.0	37.6	2.3	1.9	28.8	4.6	1.4	80.0	31.1
千葉市	59.0	40.2	3.6	8.7	23.9	4.0	0.7	79.2	31.9
東京都区部	45.8	52.4	4.3	3.7	40.5	3.9	1.8	61.5	29.7
川崎市	45.2	53.3	3.5	1.8	43.4	4.5	1.6	61.7	27.4
横浜市	59.3	39.4	3.2	3.9	28.4	4.0	1.4	73.9	30.0
静岡市	60.4	38.7	4.0	0.6	30.3	3.8	0.9	89.7	34.1
名古屋市	47.5	51.7	8.0	3.8	35.5	4.5	0.7	77.2	33.0
京都市	54.4	44.3	4.0	2.5	35.8	2.0	1.2	72.1	32.1
大阪市	41.8	57.3	9.1	3.5	42.8	1.9	0.9	59.3	27.8
堺市	58.7	40.4	10.2	8.2	19.9	2.0	0.9	79.8	31.2
神戸市	57.2	41.8	9.8	5.1	24.4	2.5	1.0	76.4	32.4
広島市	52.9	46.0	4.4	0.5	36.2	4.9	1.1	80.2	33.7
北九州市	53.1	46.1	8.5	4.0	30.1	3.5	0.9	79.3	33.4
福岡市	38.4	60.5	5.6	5.3	45.3	4.3	1.0	67.6	31.2
全国	62.1	36.8	4.5	2.1	27.0	3.2	1.1	91.8	35.7

図3 大都市の世帯の割合(平成17年)

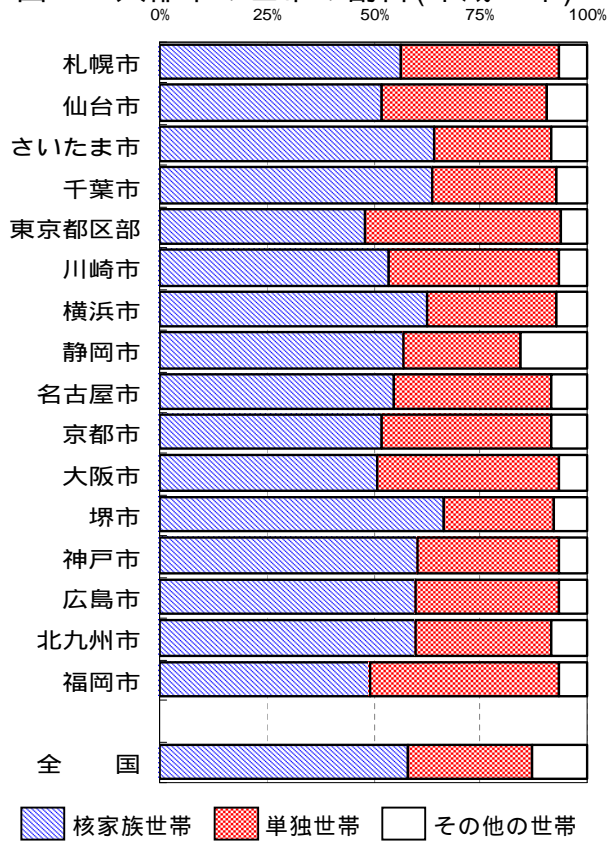


図4 大都市の住居の状況(平成17年)

